



2020-21 年度地区方針「行動するロータリアン！世界で何かよいことをしよう、TOGETHER！」

本日 第2390回 2021年1月8日(金) No. 2272

本日のプログラム Today's Program

卓話担当者: 田中 祐子さん

点 鐘 12:30

卓 話 者: //

静 聴 「君が代」「奉仕の理想」

演 題: 「生涯現役を叶える為に今日からできる
体力メンテナンス」

前回 第2389回 2020年12月18日(金) 記 録

○出席者: 会員 23 名中 15 名出席 出席率 65.21%

○ゲスト: 米山記念奨学生

オトゴンバートル・ドルジンスレンさん

会長あいさつ 舟橋 龍秀



早いもので、令和2年
あと2週間となりました。
毎年恒例の今年の漢字
は、「密」になりました。こ
れは、日本漢字能力検定協
会が、その年の世相を表す
漢字ひと文字を一般から

募集し、最も多かった漢字が選ばれます。その漢字
を、清水寺の森精範貫主が、舞台上で和紙に書き上げ
るという趣向です。

新型コロナウイルスの感染拡大により、「三密」と
いう言葉が盛んに使われたことによると思います。
応募総数 20 万 8 千票余りのうち、「密」は 28,401
票を獲得しました。ちなみに、2 位は「禍」で 13,655
票、3 位は「病」で 10,369 票ということです。その
他にも、「滅」、「粛」、「菌」、「苦」など、暗い印象の
漢字が多かったようです。

さて、私の年度も半分が終わりました。直前会長の
加藤清久さんが、ちょうど1年前に、「年次総会
が終われば大きな仕事は終わった」と言われていま

した。その時は、「まだ半分終わったばかりなのに」
と思いましたが、今、私は、加藤直前会長の気持ち
が何となく分かります。今年は、コロナ感染拡大の
影響で、これまでに経験したことがない苦労があり
ました。IM 以後、例会は休会となりました。私の
年度になるにあたり、休会のまま今年度に入ること
だけは避けたいと思い、不安はありましたが、6
月からは例会を再開し、この半年間、コロナを理
由に例会を休会にすることはありませんでした。こ
れは、会員の皆様のご協力の賜物と思っております。

令和3年は、当クラブの50周年記念の年であり、
5月15日に東急ホテルで式典を開催する予定で、
箕輪委員長を先頭に、会員の皆様が鋭意準備をし
ていただいています。コロナ感染が鎮まり、無事に式
典が挙行できることが、私の最大の希望です。その
ためには、例会から感染者が出てコロナを形成しな
いようにしなければなりません。この度、菅総理は
重い腰を上げて GO to TRAVEL の一時停止を決断
しました。これは、関係業種にとっては、非常に痛
手となり、倒産するところも出てくるのではないか
と思います。GO to TRAVEL が感染を拡大してい
るエビデンスはないという意見もあります。そうか
もしれません。しかし、やれることはやってみるこ
とが現状では必要であると思います。これは、今や
医学というより政治マターです。4月ころの緊急事

職業奉仕月間

	1月15日(金)	1月22日(金)	1月29日(金)	2月5日(金)
例 会 予 定	卓話担当者: 職業奉仕委員会 卓話者: 西尾 輝久 職業奉仕 委員長 演題: 「職業奉仕について」	卓話担当者: 飯田 幸雄 君 卓話者: // 演題: 「尾張旭 RC 50 年を 振り返って」	休会 定款により休会	卓話担当者: 谷口 亜弥 さん 卓話者: // 演題: 「発達障がいって なに？」

態宣言ではほぼすべての店が休業したとき、町の人通りが極端に少なくなりましたが、この時は、感染者は明らかに減少していました。今、またその再現というわけにはいかないかもしれませんが、とにかく我々が状況をよく理解し、新年は安心して元の生活に戻れるように自粛しなければならないと思います。

今年のお正月は、家族の絆を深めるにはよい機会ではないかと思います。それでは、皆さま、良いお年をお迎えください。

幹事報告

・12/12(土)米山奨学生学友忘年会 於キャッスルプラザ 松永幹事、山田地区米山記念奨学委員長 出席

・12/17(木)尾張旭市社会福祉協議会 第2回評議委員会 於尾張旭市保健福祉センター 井田評議委員 出席

本日の会合：創立50周年記念事業実行委員会
式典及び祝賀会担当部会 於尾張旭市商工会館内 講習会室（例会場）

次回の例会：2021年1月8日（金）
※1月1日（金）休会

ニコボックス

○本日は今年最後の例会です。皆様のご協力の下、無事前期を終わらせる事ができ、ありがとうございました。 舟橋 龍秀君、松永 洋子さん

○ドーギーさんの卓話を楽しみにしています。
飯田 幸雄君、加藤 清久君、中森 正裕君
箕輪 良孝君

○最終例会です。一年間お世話になりました。
加藤 清久君

○今年一年、ご協力ありがとうございました。
古橋 裕志君

○今までにない1年でした。お互い年末年始気を付けて過ごしましょう。 箕輪 良孝君

○早退いたします。 菊田 利昭君

卓話



「自己紹介」
オトゴンバートル・
ドルジンズレン

いてお話しします。

まず、モンゴル国について簡単に紹介します。モンゴル国（Mongolia）は、国土面積約156万4,100平方キロメートル（日本の約4倍）で、中国とロシアに挟まれた内陸国です。1990年に社会主義体制から民主化して市場経済に移行し、鉱工業を中心に経済成長を遂げました。そして、1990年以降から、日本のODAを通じて二国間関係は強化され、幅広

い分野で緊密な関係が構築されてきました。したがって、2015年にモンゴルにとって初めてとなる経済連携協定(EPA - 2016年6月に発効)が日本との間で締結され、両国間の貿易・投資の拡大が期待されています。さらに、日本とモンゴルの貿易関係をみると、圧倒的に日本の輸出超過となっていますが、最近モンゴルからの輸入も徐々に増加しています。

また、日本企業の登録企業数は、1990年から2015年8月までの累積で561社となり、例えば近頃、トヨタ正規販売店や東横インホテル店舗を始め、モンゴルに進出する日本企業も増えています。

次に、実際にロータリークラブの奨学生となって、何を不得、何を学んで、どのように成長したか、簡単にお話しします。

第一に、米山ロータリーが開いてくれた一番大きな機会のドアは、名古屋大学で留学できたことです。今、私は、名古屋大学の法学研究科で、知的財産法を専攻として勉強して、色々なスキルを身につけています。

第二に、日本の伝統文化や歴史などを実際に体験できたことです。私は日本に来て、一年間ぐらい立ちましたが、半年ぐらいはコロナの影響で家にいる時間が多かったですが、今まで、伊賀忍者村、徳川美術館、トヨタ産業技術館といった色々なところに行って、私なりに日本の歴史、文化、生活スタイルを学んで、自分の視野・考え方を広げることができました。

第三に、皆さんをはじめとする色々な日本人の方々との関わりによって、自分の価値観・目標をもっと明確化することができています。例えば、毎月の世話クラブの例会に参加する時、クラブの皆は相手の立場と気持ちを理解して、発言し、行動する姿、また、しっかりした役割分担の下で協力して仕事をやり遂げるという姿勢は、学生の私にとって、大変勉強になっています。

これから、米山ロータリーの幅広い人脈を大切に、母国と日本との架け橋になる、またもっと国際社会で活躍できる知的財産法の専門弁護士になるために、一生懸命頑張ります。

皆様のご健康とご多幸を心からお祈りいたします。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

参考文献：

1. 「日本とモンゴル EPA 協定についての調査」
https://www.jica.go.jp/mongolia/office/activities/environment_guide/ku57pq00002c696c-att/guide2017_05.pdf

2. 外務省報道発表「日・モンゴル経済連携協定の効力発生のための外交上の公文の交換」
http://www.mof.go.jp/mofaj/press/release/press4_003278.html